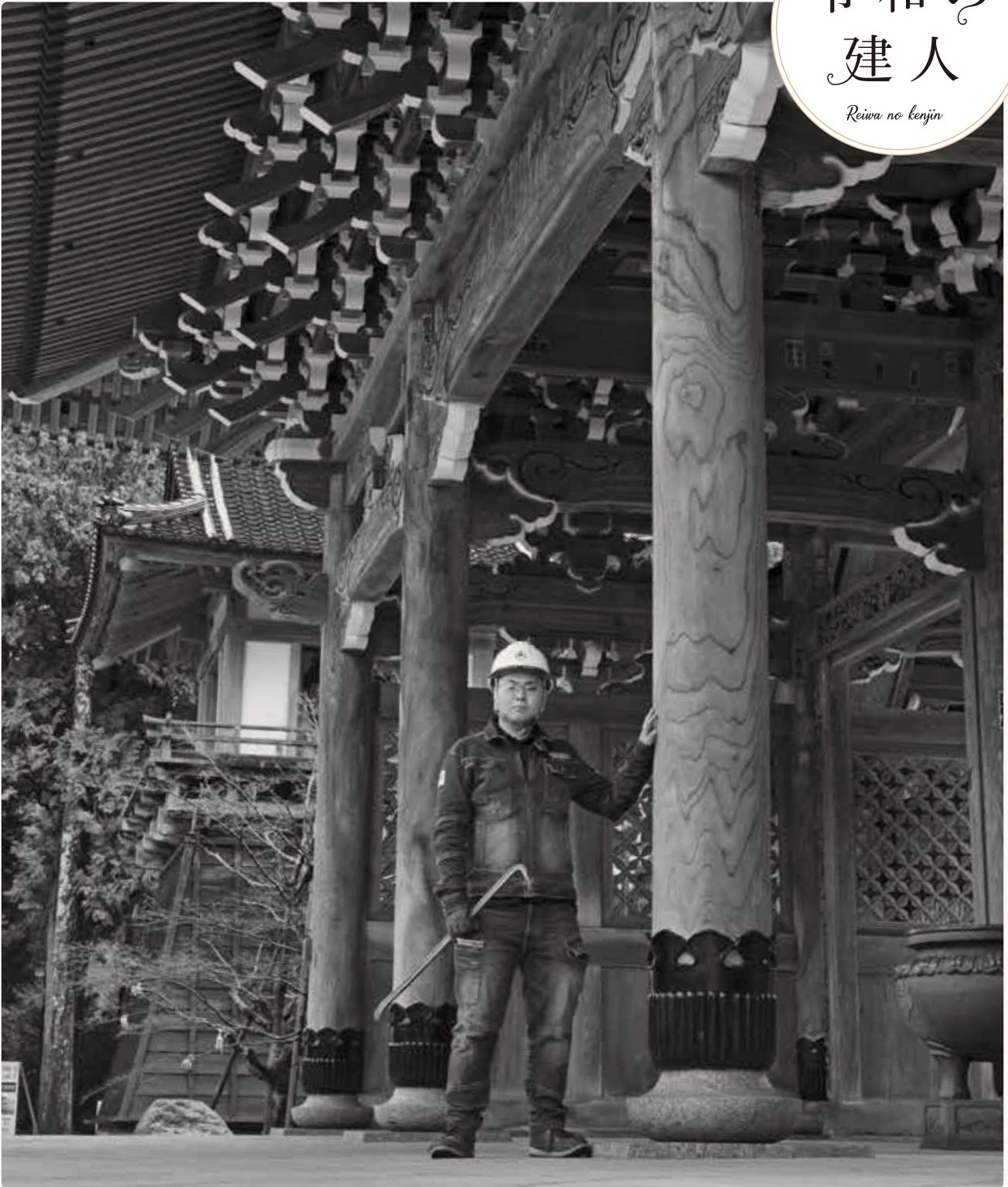


令和の 建人

Reiwa no kenjin



写真撮影：中原一隆

曳家職人

詳細はコチラ!



2017年、基礎の修復・補強のため、5階建てビル相当の総ケヤキ造りの巨大山門を曳家で20m動かしたことが話題になった。今は元の場所に戻された山門の前で少し誇らしげなのは、曳家職人・熊野翔太さん。これを動かすだけでも大変なことに思えるが、実は重要なのはその前の段階。建物を傷めることなく1m以上ジャッキアップして「移動できる状態にする」、それこそが曳家技術の真骨頂だ。「習得まで20年」という父の技を受け継ぐため、日々努力を重ねる熊野さんのインタビューを左記QRコードからご覧ください。